

2018年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題
【修士課程】 専門科目 文化人類学 コース ※解答は別紙（縦・横書）

I. 次の文章はある人類学者によって書かれたものから一部抜粋したものである。文章をよく読み、以下の設問に答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

設問1 波線のアンダーライン①に関して、トーテム信仰について知るところを簡潔に述べなさい。

設問2 波線のアンダーライン②に関して、マリノフスキーの考え方について、それに対する批判も含めて、簡潔に述べなさい。

設問3 波線のアンダーライン③に関して、レヴィ＝ストロースの考え方について、それに対する批判も含めて、簡潔に述べなさい。

設問4 本文をよく読んだ上で、波線のアンダーライン④に特に注意を払いつつ、文化における「常識」（いわゆるローカル・ノレッジ）に関して、あなた自身の考えを簡単にまとめて論じなさい。

- II. 次の問題から2つ選び、選んだ問題の記号を明記して答えなさい。
- A. オリエンタリズムについて、文化人類学がどのように考えてきたのか具体的な事例を挙げて簡潔に論じなさい。
 - B. 親族研究の意義について、文化人類学がどのように考えてきたのか具体的な事例をあげて簡潔に論じなさい。
 - C. 通過儀礼について、文化人類学の観点から具体的な事例をあげて簡潔に述べなさい。
 - D. 病むということについて、文化人類学の観点から具体的な事例をあげて簡潔に論じなさい。
 - E. 多文化共生について、文化人類学の観点から具体的な事例を挙げて簡潔に論じなさい。

III. 次の用語・人名のうちから3つ選び、記号を明記して文化人類学の観点から解説しなさい。

- A. オラリティ
- B. ディアスポラ
- C. エスニシティ
- D. シンクレティズム
- E. 社会進化論

IV. 文化人類学コースにおいて今後どのような研究を計画しているのか、テーマおよび研究方法を具体的に述べ、主要な先行文献を書き添えなさい。句読点を含めて300字以内で記しなさい。

また、関連する卒業論文やゼミ論文（予定を含む）や既発表論文があれば、欄外にその題目を付記しなさい。外国語の場合は日本語訳を添えること。

Lined area for writing, consisting of 25 horizontal lines.

(次頁へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

さくらんぼ

Blank lined area for writing.

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

